

た。其成績は第 6 表に示してある。

第 6 表

型の種類	添加ナトリウム量%	球 硬 度 kg/mm ²		平均値
金 型	0.0	142.6	147.4	146.5
		145.5	149.5	
	0.2	149.5	146.5	146.5
砂 型	0.0	142.4	149.5	115.7
		113.7	113.0	
	0.2	114.6	119.6	118.7
		119.3	118.7	
		117.6	118.7	

此等の値よりは組織に及ぼすナトリウムの影響は判然しない。然し顕微鏡試験は金型の場合には其影響を認められ処理しないものよりも全體が小粒であるが砂型の場合は只中心部のみが処理しないものよりも大粒で他は變らない。

(谷 山 巖)

タタ製鐵會社罷業經過 (昭和 3 年 6 月十五日著カルカッタ帝國總領事村井倉松氏電報)(海外經濟事情第 11 號)印度タタ製鐵會社に於ては過去數個月に亘り、工場各部に部分的の罷業間歇的に發生しつつありしが、4 月 17 日シート、ミルの職工罷業し、次で 21 日機關部にも傳播するに至れり。仍て會社は 5 月 1 日機關部職工罷業の爲作業不可能なりとし、ローリング・ミルを閉塞し、次でシート・ミル及機關部の罷業者約 1500 名を解雇し、機關部には他より雇入る旨聲明せり。如上労働者側の豫期に反し會社側の態度強硬なりしが爲多少脅威を感じたるものの如く漸次罷業者復歸し、只シート・ミルの職工の罷業繼續を除き、5 月下旬には殆ど原狀恢復の状態に迄立至れり。然るに 5 月 25 日右罷工職工の指喉により労働者の大部分示威游行をなし、更に 6 月 1 日より 2 日間示威的休業を爲すべき旨威嚇せる爲、會社側は六月一日工場全部を閉鎖し、且同日出勤せざる者は退職せる者と認め給料を支拂はざる旨聲明せり。其後會社は他より雇入れたる職工と殘留せる一部の職工とを以て一部操業を續け居るものの如く。又罷業者の態度は比較的平穩にして、セケットに基く 2、3 の個人的暴行事件の外は格別の騷擾無きが如し。又罷業者側には相當内訌もあり。且會社側の態度強硬なるが爲、解決永引く可きを見越し、罷業者にして既に同地を去れるもの 6000 人に達せりと言ふ。

罷業の原因は主として賃銀問題なるが、會社側の態度は頗る強硬にして以上は労働者の利益は從來充分に考慮し居り一般的賃銀値上の如きは現状に於て問題とならずとせるにあり。又最近形勢悪化の直接原因は、曩に會社側にて發表せる賃銀割増制度(標準額以上の生産ありたる場合に其割合に應じ賃銀割増を興ふる制度)を労働者側に於て充分了解せず、種々の疑惑不安を醸したるにあるものと認め居るが如し。何れにもせよ本罷業は罷業者の態度餘り強硬ならざるやに見受けらるゝも、目下印度全般に瀰漫し居る罷業風潮に鑑み、前途の豫測困難なり。

甲谷陀に於けるタタ製鐵會社側の説明によればタタ工場は 6 月 1 日以來鎔鑄爐一個を除き全部閉鎖し、從て製鋼は製造中止せられたるも、銑鐵は猶ほ一日 500 噸當り製産せられ居る由。罷業に對し同社の態度は強硬にて從前の主張を固守する外なく只今の處解決の徴なきも、之が解決を見る迄には猶ほ 6 週間を要すべき見込なり。當地製鐵市況は同罷業に依り厚物スチール、ハー及シート(本品は印度に於て主として同社の製造、供給に係る)等は、1 噸當り約七留比方騰貴を見たるも、輸入鋼たる薄物スチールには目下何等影響なく、又厚物の先物取引は行はれず手近物計りなり。銑鐵相場は從前の通變りなし。